

フェアプレイ  
インタビュー  
[ラグビー]  
山田章仁選手



プロフィール  
生年月日: 1985年7月26日  
出身地: 福岡県  
趣味: お笑い鑑賞

★トップリーグ  
2017-2018シーズン  
最多トライゲッター

健闘をたたえ、感謝を伝える  
フェアプレー精神を胸に戦う

世界を沸かせた忍者トライ

山田章仁選手は5歳でラグビーを始めました。「トライをとってみんなの喜ぶ顔を見るのが好きでした」と当時を振り返ります。高校生でU17日本代表に初選出されて以降、U19、U23と代表を経験し活躍を続けます。30歳で出場した2015年ラグビーワールドカップ・イングランド大会では、くると相手選手のタックルをかわす「忍者トライ」で世界を沸かせました。



そして来年、自国開催となるワールドカップにも、日本代表として出場することを目標に日々練習を重ねています。

「フェアプレイ宣言」  
しました!!

試合の激しさは敬意の表れ

ラグビーはタックルやスクラムなど、激しいぶつかり合いの多いスポーツです。山田選手は「全力で戦うことが相手チームへの敬意につながると思っています」とフェアプレーへの思いを教えてくださいました。また、ラグビーでは試合終了のことを「ノーサイド」と言い、試合が終わったら敵味方関係なくお互いの健闘をたたえ合う文化があります。「フェアプレーを体現するラグビーの文化は僕も大好きです。ノーサイドの笛が鳴ったら、まずは試合を一緒に作りあげた相手チーム、レフリー、観客へ感謝の気持ちを伝えます。これは、小学生の頃に教わり、ずっと実践しています」と話してくれました。

やりたいことに全力で挑戦しよう

読者のみなさんには「スポーツに限らず、やりたいことには全力で挑戦し、目標達成までやりきろう」という力強いメッセージをもらいました。山田選手自身も、やりたいと思った気持ちを大切に、ラグビーの他にアメリカンフットボールにも挑戦しました。「自分で決め



た挑戦には責任感も出ます。自分で目標を立てて、やりきるといことを続けてきたからこそ今の僕があります。アメフトで得た経験はラグビーでもしっかりと活かされています」と語りました。

Q. 山田選手のポジション・ウイングって?

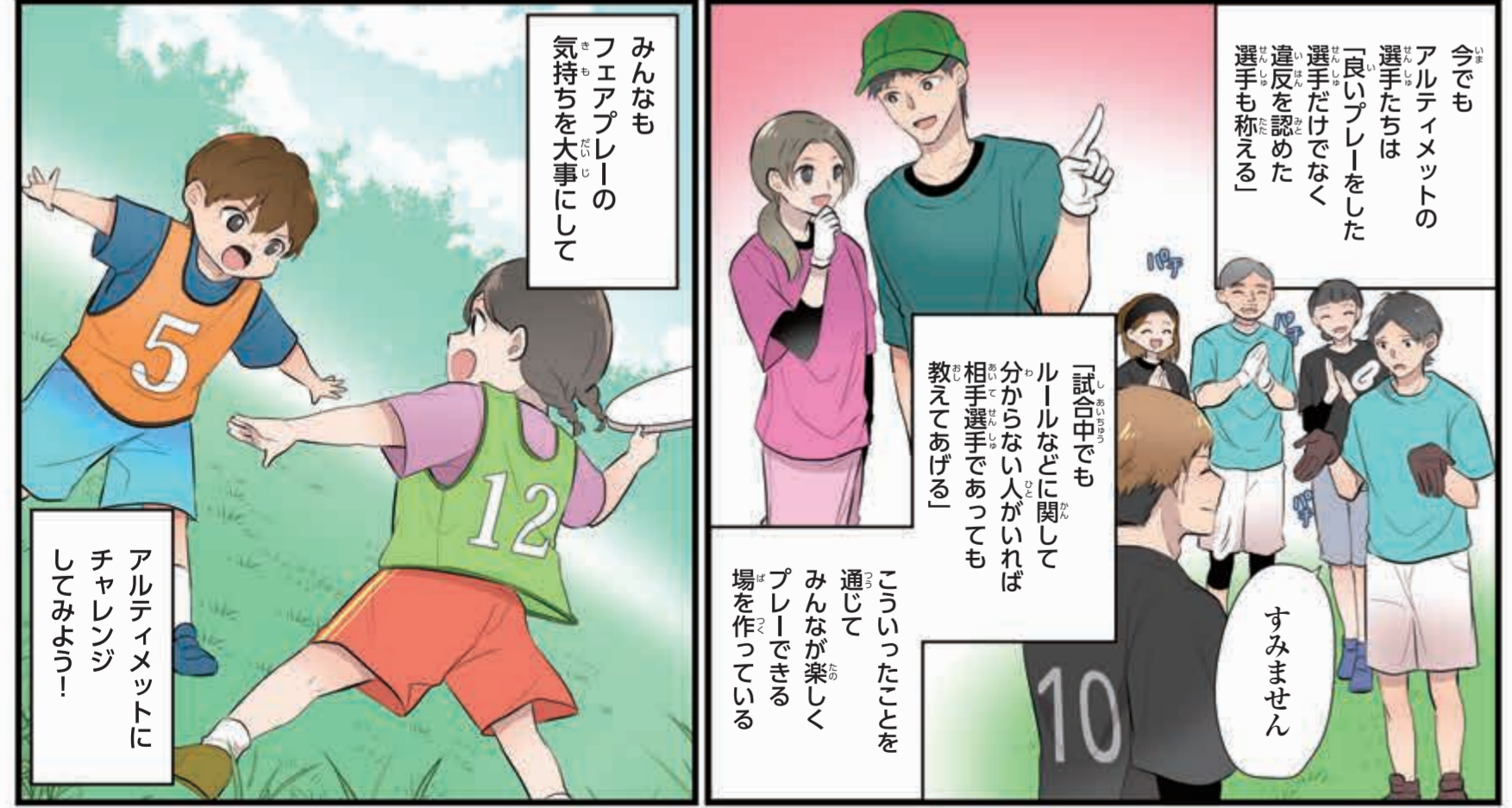
A. 相手を抜き去り、トライを決めることが求められる役割。

山田選手は50mを5秒台で走る俊足と、タックルに負けない体幹の強さで、主に右サイドを駆け抜け、トライを決めます。



アルティメットに学ぶフェアプレー精神

アルティメット



アルティメットとはフライングディスクを使ったスポーツである

このスポーツは約50年前に当時のアメリカの高校生・シルバーが友人とフライングディスクで遊んでいるうちに思いついたのが始まりだった

この競技の最大の特徴は「審判がない」ことだ

お互いが気持ちよく戦うことができるように気を付けよう!

その後、競技としてルールが整っていったが、身体接触などのルール違反はお互いのパフォーマンスを下げてしまう

選手みんながこの考えを意識して大切に審判なしで試合を成立させてきた

50年の歴史の中でもそれは変わらず

「試合中でも、ルールなどに気がついてからならいければ相手選手であっても教えてあげる」

みんなもフェアプレーの気持ちで大事にして

「試合中でも、ルールなどに気がついてからならいければ相手選手であっても教えてあげる」

すみません

こういつたことを通じてみんなが楽しくプレーできる場を作っている

アルティメットにチャレンジしてみよう!

今でもアルティメットの選手たちは「良いプレーをした選手だけでなく違反を認めた選手も称える」